

ゆび募金 だより



No.

18

会報 第18号

2018



新たに
加わった

寄付先団体 大特集!



公益財団法人 どうぶつ基金

【設立】1988年
【代表】理事長 佐上 邦久
【URL】<https://www.doubutukikin.or.jp/>

どうぶつ基金は設立以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。2005年から、地域猫の無料不妊手術事業に取り組んでいます。殺処分される猫の74%が離乳前の子猫であるという事実から、飼い主のいない子猫が生まれなければ、殺処分数は減らせます。そのためには地域猫の不妊手術を行うことが近道と考えています。

全国の獣医さんや行政、ボランティアの皆さんと協働して事業を進めています。

ゆび募金は、不妊手術事業にかかる費用にあてられます。犬や猫の殺処分数は年々減少しており、殺処分ゼロは夢物語ではありません。

不幸な命を減らすために、本会の活動へのご理解とご協力をお願いします。



公益財団法人 交通遺児等育成基金

【設立】1980年
【代表】会長 小幡 政人
【URL】<http://www.kotsuiji.or.jp/>

交通事故による死亡・重度後遺障害被害はいまだに深刻です。突然の事故により、その被害者の子どもたちは、生活環境・教育環境が損なわれ、困難な境遇に置かれてしまいます。

交通遺児等育成基金は、国と民間団体の協力を得て、1980年（昭和55年）の創立以来、交通遺児または重度後遺障害を負われた方の子弟に対し、生活基盤の安定と健全育成の支援のため、給付金事業を続けています。

ゆび募金は、すべて交通遺児または重度後遺障害を負われた方の子弟に対する「支援給付金」にあてられます。子どもたちの未来を守るために、ご協力をお願いします。



NPO法人 エイジングセンター

【設立】2017年
【代表】理事長 渡辺 泰章
【URL】<http://www.age-vcj.com/>

エイジングセンターは、人と動物の加齢とともに起こりうる諸問題を解決することを主たる目的として開設しました。私たちは以下の取り組みに努めていきます。

- ・飼主と動物が一緒にできるリハビリの普及
- ・飼主死亡時の動物の孤立化防止（レスキューカードの発行）
- ・動物の高齢化による飼主の精神的負担軽減
- ・終末期を迎えた動物の支援体制構築
- ・飼主の意向に寄り添う医療を目指すスタッフの教育

設立して間もない法人ではありますが、社会のニーズを早期に確実にキャッチし、社会に喜ばれる事業を早期に確実にリリースします。

ゆび募金は、本センターの事業活動の資金とリハビリ施設の建設費にあてられます。



今年で12年目！ クリスマスプレゼントをお届けしました！

JK協会では毎年、福祉施設や養護施設にクリスマスプレゼントを贈っています。
この活動も12年目。お菓子に手作りのクリスマスカードを添えてお届けしました。



あおいとり日野 東京都日野市



ひまわり作業所 東京都杉並区



ジャパン・カインドネス協会は認定NPO法人です

平成29年6月7日付
【認定NPO法人番号：29生都管第330号】

認定NPO法人とは？

NPO法人の中でも、より厳しい一定要件を満たしているとして、所轄庁から交付される認定資格です。
全国51,779団体の中で、認定を取得しているのは約2%、1,056団体です。（平成29年11月末現在）

何が変わるの？

認定NPO法人に対する寄付は、寄付金控除（税制上の優遇措置）の対象になります。
具体的には、法人税を軽減させる「寄付金損金算入枠」が、通常の3～5倍に拡がります。
（※申請手続きには、本会発行の領収書の保管が必要です）

編集後記

昨年は、創立20周年の節目に認定NPO法人を取得することができ、本会として感慨深い年となりました。本年も皆様の信頼に応えられるよう、真摯にゆび募金事業に取り組んでまいります。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。
2018年が皆様にとって実り多き一年となりますように・・・。
本号では、ゆび募金の寄付先として、新たに登録された活動団体をご紹介します。どうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

（青木）

ゆび募金だより 会報第18号

発行日：2018年2月1日
発行：認定NPO法人 ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004
東京都国立市中1-18-41 栄ビル301
TEL：042-571-2233
FAX：042-571-2263
Eメール：info@jkkyoukai.com
URL：http://jkkyoukai.com/